



埼玉県議会議員

わたなべ

渡辺

県政報告 Vol.9

そらいちろう

新年度予算! 白熱の議論!!

埼玉県の予算審議が行われ、執行部と白熱した議論を行いました。白岡市・宮代町の事業予算もしっかり確保。県の力を引き出し地域の発展を目指します。地方分権を進める中で県政の役割は大きくなっています。埼玉から日本を良くするという強い思いで取り組みます!

子育て政策の充実

東京都との格差が広がる子育て施策。保育士の東京への人材流出も懸念されます。予算審議の場では**保育士給与について県単独で補助を行う事を強く要請**。より安全な保育環境をつくるため、議会で付帯決議※を行いました。
※予算執行の際に議会の意思を反映させるための決議



スタートアップ支援

今年度から渋沢MIXというスタートアップ支援拠点がさいたま新都心にオープンします。これをどのように埼玉の成長に繋げていくかを議論。渡辺は**地域の課題解決にスタートアップの力を活用すべきと提言**。社会的課題の解決を図るソーシャルベンチャーの育成にも力を入れていくという県からの説明がありました。



医療

埼玉県の課題である医療。渡辺は**小児救急医療の充実を訴え**、新年度から小児救急を行う医療機関への補助事業が始まります。また、医師確保についても多くの委員から質問がありました。まだまだ取り組みが足りていませんので、今後も地域医療の強化に力を入れていきます。

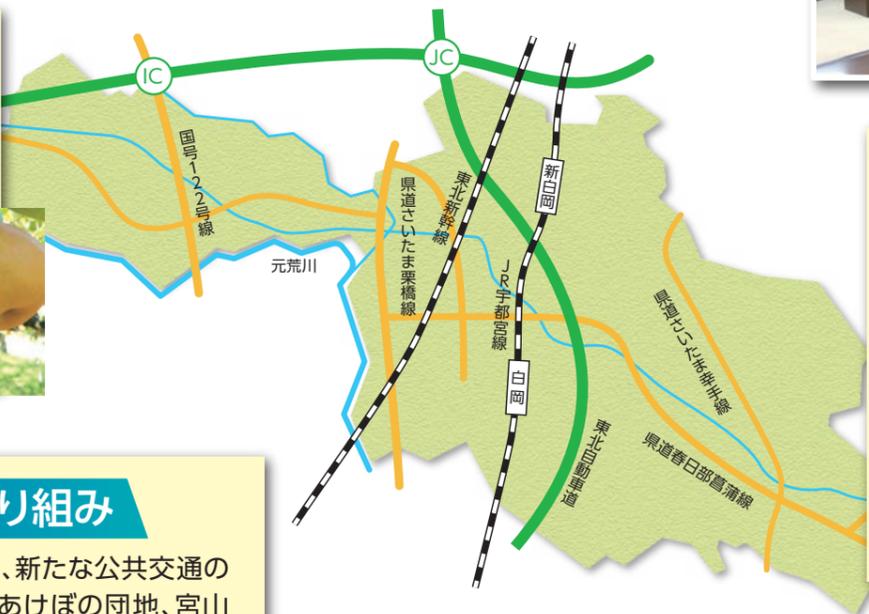


白岡市の予算を確保!



大規模な梨団地の整備

県の農林公社が柴山地区に梨団地を整備します。梨の育成や販売は民間の株式会社が担い、新たな形で市の特産品である梨の振興を目指します。



白岡市内の道路整備

新年度も東北自動車道の側道の歩道整備、春日部菖蒲線のバイパス道路整備など県道の整備を進めます。用地買収が終わった所からすぐに整備開始。整備と買収を同時並行で進めてスピードアップを図ります。



新たな公共交通の取り組み

県と市で半分ずつ事業費を出して、新たな公共交通のサービスを始めます。東伸団地やあけぼの団地、宮山団地など菁莪地域の方々にジャンボタクシーを使ってスーパーに送迎する事業です。公共交通の課題を解決するため粘り強く取り組みます。



白岡を流るる河川の改修

豪雨災害に備えて姫宮落川や隼人堀川などの河川の整備を継続して行っています。地域の安全を守るために重要な事業です。前年度よりも多くの事業費を確保しました。橋の架け替えも順次完成しています。



白岡市役所火災からの復旧

5月6日、白岡市役所で火災が発生し、4階建ての庁舎のうち市民課や会計課などが入る1階部分、およそ800平方メートルが焼けました。消防車20台が出動し約6時間後に火は消し止められました。火災原因は電気システムのショートと見られています。住民情報を扱う基幹系システムが使用できず、行政サービスが一時的にストップする事態となりました。



火災直後に埼玉県企画財政部長と連絡を取り、対応を要請。県職員もすぐに白岡市に入りました。**8日には藤井市長・大島議長とともに大野知事に面会し、改めて県の支援を要請。**県の技術支援チーム(特に情報システム復旧のための支援チーム)が復旧に向けた支援を行い、市の基幹システムも復旧しました。それ以外にも県ではNTT東日本に対して通信回線復旧の要請や防災無線設置の支援も実施。13日から市の主要業務が復活しました。現在は、はびすしらかとこもれびの森に臨時窓口が開かれ、各業務が行われています。



国に対しても支援要請(総務省にて)



知事・市長とともに市役所の内部を確認しました。税務課、市民課、会計課は黒く焼け焦げており、様変わりした市役所を目の当たりにし大きなショックを受けました。2階以上も煤が入り込み机や椅子が真っ黒になっていました。

議長や自民党県議団にも状況を伝え、議会からの後押しも要請。財政支援を引き出すために総務省とも協議を行いました。国の特別交付税措置や県の財政支援制度等で支援していく予定です。

市庁舎火災で 知事に要望書
自民県議団(田村球実団長)は6日、6日(白岡市)に緊急要望書を呈送す

市庁舎火災で、知事に要望書。自民県議団(田村球実団長)は6日、6日(白岡市)に緊急要望書を呈送す。要望書では、職員派遣による技術的支援や他市町村からの復旧事業債の活用や特別交付金などを求めた。要望書は、取材に応じた田村団長は「知事からは前向きな回答をいただき、前例がない中で支援したとの報告もいただき、引き続きの対応をお願いしたい」と述べ、地元選出の渡辺一朗議員は「復旧までに長いフェーズが必要。伴走的、財政的な支援を要請させていた」と経緯を説明した。(伊部伸博)

市の職員も慣れない環境で疲労が溜まっています。大事な人は人です。県の保健医療部に相談し、県から精神科医を派遣するなど市職員のメンタルヘルスのサポートを行う事になりました。



知事に対してさらなる財政支援を要望。県の全面的なサポートを引き出します。(5/17埼玉新聞より)

渡辺はこう考える

今回の事故は、原因究明はもちろん再発防止に向け危機管理の見直しが求められます。県としては、市に何かあった際のバックアップ体制を強化していく必要があると考えています。市役所火災は一般的な自然災害とは異なるため、復旧にかかる費用の多くは地方債(市の借金)となってしまう可能性が高く、厳しい状況です。庁舎の建て替えも検討されています*2が、その際は今の時代に必要な市役所のあり方も考える必要があると思います。(例えば、分散型市役所として機能を複数個所の拠点に分け、整備コスト削減と市民サービス向上を図る等)県議としては県や国の支援を最大限に引き出すと同時に、復旧に向けた手法を市に提案していきます。

*2 建物調査の結果により建て替えるか改修・修繕にするかが決まります。



渡辺そういちろう プロフィール

1984年生まれ。明治大学大学院公共政策研究科卒。都内IT企業勤務を経て、衆議院議員の秘書を務める。2015年、2019年に白岡市議会議員に出馬し当選。白岡市議会では総務委員長などを歴任。2023年から白岡市・宮代町選出の埼玉県議会議員として活動を開始。産業労働企業委員会副委員長、自然環境特別委員会に所属。家族は妻と二歳の娘。

発行日: 2025年6月24日
発行元: 埼玉県議会自由民主党県議団 渡辺そういちろう政務活動事務所
連絡先: 〒349-0212 埼玉県新白岡4丁目8-4シオン102 TEL 0480-53-3623
MAIL soichirowt21@gmail.com WEB <https://www.so-wat.net/>



X



Webサイト



Instagram

駅頭活動にて